

## 津島議員、田野瀬議員が視察 過酷な環境下での作業再認識



胴長を身に着け管内水中歩行を体験する津島議員（手前）と田野瀬議員

津島淳・衆議院議員と  
田野瀬太道・衆議院議員  
が13日、東京都下水道局  
の下水道技術実習セン  
ターを視察した。人孔七  
デルや管内水中歩行七テ  
ルの体験や老朽管・更生

管モデルの見学などを  
行った。胴長を着用し、  
水深、流速が変えられる  
水槽に実際に入り、管内  
の水中歩行を体験。水の

流れる管内での歩行の困  
難さや危険性を体感し  
た。

視察を終えた津島議員  
は「座学だけでなく研修

施設で体験したが、過酷な作業環境下で日々技術開発や、安全に配慮しながら点検作業に取り組んでおられることを再認識した。我々の日々の生活の後始末をしながら再生可能エネルギーを取り出すことに取り組み、さらには災害に対応する国土強靱化にも尽力いただいている。50年、100年に一度の災害ももちろんだが、いつ起こるか分からないゲリラ豪雨に対応する取り組みもされている。そういうことを実感し、非常に印象深い視察だったと感想を述べた。

同センターは、下水道界の人材の育成と技術の継承を図るための施設で、33種の実習施設を配置している。「見て」、「触れて」、「体験して」をコンセプトに実際の現場施設とできる限り同じ材料、構造、規模で整備している。同局だけでなく、民間事業者や他の自治体も利用している。運営は東京都下水道サービズに委託している。